

第19回辻堂市民センター・公民館建設検討委員会 議事概要

開催場所： 辻堂市民センター 第1談話室

日 時： 2017年3月24日（金曜日）

13時30分～15時30分

- 出席者 委員長 松本喜夫（辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会）
委員 野中富央（辻堂地区社会福祉協議会）
委員 松原和憲（建設地近隣町内会代表（県公社辻堂西海岸自治会））
委員 金子節子（辻堂公民館評議員会）
委員 池田 潔（辻堂市民センター）
委員 林 宏和（市民自治推進課）
委員 塩原彰子（生涯学習総務課）
委員 村田裕治（生涯学習総務課）
委員 日原 敦（福祉総務課）
委員 黒澤卓司（高齢者支援課）
委員 工藤秀明（消防総務課）
委員 三橋計三（消防総務課）
- 欠席者 委員 関岡壽夫（辻堂まちづくり会議）
委員 小川雄二郎（辻堂地区防災協議会）
委員 総合市民図書館
委員 教育総務課

事務局

- 大岡誉和（市民自治推進課）
柏崎浩通（市民自治推進課）
鈴木優司（辻堂市民センター）

その他

- | | |
|-------------|-----------|
| （公共建築課）岡 健志 | （国設計）齋藤啓介 |
| 塩野充彦 | 小坂貴志 |
| 椎谷権行 | 鈴木桂介 |

配布資料

1. 次第
2. 前回の検討事項等の確認...資料1
3. 平面検討図（各階）
4. 市議会2月定例会総務常任委員会報告資料

2. 議題

(1) 前回の検討事項等の確認について

市民自治推進課から説明

資料1のとおり

(2) 市議会2月定例会総務常任委員会での報告及び陳情について

市民自治推進課から説明

資料のとおりの内容を報告した。また、図面（配置図、各階平面図、断面図）と1月21日の地区全体説明会にて配布した南側配置案との比較表を合わせて資料とした。また、陳情が出され、内容としては、辻堂市民センターの改築基本設計に対して事業目的達成面と経済性について客観的評価基準を用いた基本構想案やワークショップに基づく案をはじめ複数配置案による比較検討を求めるといったものであった。報告内容と陳情をセットにして審議した。

結果的にこの陳情に対しては趣旨不承ということでした。

議員からの主な意見は次のとおり。

陳情そのものに賛成した議員からは、やはり住民参加での住民合意をしっかりと進めるべきだということ、これまでの対応が住民の意見を十分に聞き取っていないのではないかと、住民合意の方法に問題があるのではないかと指摘。

この南側配置案が12月3日のワークショップをきっかけにして提案されましたが、これまで建設検討委員会で進めてきたものに対してこのタイミングでワークショップをやること、そのときの判断そのものがどうだったのかという指摘。

ワークショップの後の対応について、比較検討もした上で1月21日の説明会に臨みましたが、比較検討そのものに疑問を感じるという厳しいご意見。

この建設検討委員会が非公開ゆえに起きた問題ではないか、この非公開そのものの見直しという意見。

全体的に、これまでこの建設検討委員会では、本当に様々な議論を積み重ねてきて検討を進めてきたが、ただ行政の対応に疑問がある、もう少ししっかりと丁寧な対応をすべきだという指摘です。

また、3月22日には市議会議長から市長に対し、辻堂市民センターの再整備については合意形成の取組に不十分な部分があり、住民間の混乱を招いている状況があるので、今後の合意形成についてはしっかり対応するように求めるという意見をいただいた。

この基本設計は3月中旬までに完成させるところ、ここで延長するので、その延長期間と業務内容を改めて具体的に詰めていく。今後、補正予算など6月議会に向けて市として対応が必要です。

建設検討委員会としては、夏くらいにはある程度まとまることを目標にしたスケジュールとなる。

今後の住民の合意形成を、今、北側住民とまちづくり研究会の人達を含めて、全体の合意形成を得るために、ご意見がございましたら伺いたい。

地域委員

地元の方、反対している方だけという意味じゃなくて、意見のある方達の間をどうするか。

地域委員

北側の住民に対しては、日影はこのくらいになるからということで納得してもらえないと思います。ワークショップそのものは建物の中に対してのもので、外の配置に対してのワークショップではなかった。そこところを議会にも分かってもらいたい。

市民自治推進課

ワークショップのテーマというのは、外部の配置は想定していなかったことは議会の場でも説明はしました。ただし、そういうことも想定されるだろう、詰めが甘かったという指摘になっている。

地域委員

議会の陳情の結果、趣旨不承となったことは良かったなと思っています。二つの案を二つに割って半分の間で落とすところというのは無理だろうと。つまりこちらで続けるのか、あるいはB案、住民の全体

かどうかは別として、この陳情の形をもって示されたものへ転進するのか、二者択一しかないと思います。住民の理解と協力が得られるよう、時間をかけて、立ち止まって検討しましょう。やはり我々がやってきたこの案をブラッシュアップしていく、今から多少手を加え、住民の声を生かせる部分があればそれを組み入れていくということで基本は動かさない。このように進んでいくべきだろうと思います。

（３）未決定事項について（４）今後の進め方について

地域委員

地元の人達との今後の話し合いは、設計の変更なども考えての話し合いをするのか、それともまったく話し合いをしてから建設検討委員会で設計のことを考え直すのか。我々が進めてきたことを基本にどこまで理解していただけるかという話をするか。

地域委員

議会でも話し合いをするようにということであって、設計を変えるというわけではない。我々の進めてきた設計の基本は変えないで良いと捉えている。

市民自治推進課

議会の中で、この日影の問題など意見に対しては受け入れる部分は検討する中で、基本的には今後もこれまで検討してきた案をベースに十分に説明をしていきますという言い方をしています。必要な可能な修正部分が一部分出るかもしれませんが、基本的には地域の方に理解をしていただくという方向です。

地域委員

この検討委員会というのを公開にはできませんか。懐疑的な気持ちが優先しているところがあると、すべてに信頼性を持ってないということになっているようで。一生懸命やっているところを見てもらって良いと思っています。

地域委員

やっぱり非公開でないと、例えば問題が提起されたときも、それが決定でなくても、逆にそれが決定みたいなかたちで回ってしまう、それが一番問題になる、逆方向に進んでしまう可能性も出てくる。

辻堂市民センター

今まで情報提供の不足というところもありました。紙ベースで回覧などしたことがなかったので、4月10日号の広報に合わせたタイミングで、検討期間の延長をご報告することを主な目的として、今までの経過も含めて地域の回覧を考えている。

辻堂市民センター

これからは今まで以上に近隣の皆さんとの意見交換が必要になってくる。北側の自治会から推薦をいただいた方に、この建設検討委員会に加わっていただいて、これからの詳細の部分を検討していきたい。

地域委員

私はプラスに考えています。中に入っていたいただければ、この全体の設計を進めるに当たって、いかに法的な規制であるとか、妥協しなければならぬ落としどころで造っているというのはよく分かってもらえるだろうし、日影だけですべてやっているわけじゃないということも分かる。

地域委員

同じ土俵で意見を言えるというのが、まずそれが大事ですよ。やっぱり理解の第一歩はそういう同じ土俵で意見を言い合うということなので、是非そういう意味では自分のことだけじゃなくて広い視野で意見を持っていただける方を望んでいます。

3. その他

公共建築課

南側道路に関する藤沢警察署との相談内容についての説明。

南側道路を双方向、一番は駐車場入り口のところまで双方向で、それより西側はそのまま一方通行という道路の途中で変えるというのは不可能ではないが、一施設のための規制というのはなかなか難しくハード

ルが高いとのこと。また、交差点から交差点まで全部双方向にする場合は、南側道路のガードレールを撤去して双方向の6m道路とし、そのために敷地側に歩道状空地を設けます。西側道路も6mで双方向ですが歩道上空地は設けないのか。同じ6m道路で双方向なのに、南側は安全性確保し、西側は安全性に配慮できないということになる。では、西側道路を双方向から北から南方向の一方通行にしたらどうだろうか。そのためには住民の合意というか要望があることによって可能となる。

市民自治推進課

もともと、施設利用者が南側道路から西側道路へ右折して北側にできることをまず懸念しましたが、逆に、南側を双方向にしたときに、県道から西側道路を南下して、南側道路を走行することも可能となる。その折衷案で、少なくとも南下は増えるにしても、北上は抑制できるので、住民の方々も納得しやすいのではないかと。住民にとっても、西側から南側を通して辻堂駅南海岸線への出方もできるという、少しはメリットもあると思う。ライオンズマンションの駐車場へは影響がない。ただ、エントランスが西側道路に面しているので、どういうご意見をお持ちになるか。児童クラブの送り迎えの方には動線は変わってもらえないか。あとは、北側の指定通学路がどういう使われ方が増えるのか。

市民自治推進課

今回、周辺道路のことを進めていく際に、北側道路もライオンズ北側と同じように車両が通行止めになると、通学路としても安全が高まると考えられる。北側住民の方の中にも通学路の安全確保の意見があった。南側道路の双方向と西側道路の北から南方向の一方通行、北側道路の車両通行止めという総合的なところを地域でお話していただきたい。

地域委員

オーケーの前の十字路の交通量の調査はやったのですかね。

市民自治推進課

2月上旬に調査をしています。現状の交差点の車の走行について、どう曲がる車が多いかなどの調査の上で、20台程度の駐車場がある施設ができたときに、その交通量にどれくらい影響があるかという調査をしています。20台程度なので影響がありませんという結果です。20台が1時間の間に出入りする、40台が走行したという想定です。

公共建築課

指数が0.8から0.9というのが限界の数値で、今現在の状況が0.284でした。

駐車場が21台に増えても0.288になるという結果です。

辻堂市民センター

オーケーの前の交差点について、以前から危ないということと、右折するとき、特に朝の通学の時間帯に渋滞になってしまうというお話がありました。地域から市と警察に要望書というのを出しておりました。警察と協議をして、ほぼ決定ですけれども、交差点が歩車分離になります。小学校の通学路はそのまま歩道橋。その下を歩車分離にして、全部赤になって歩行者が渡る。ただスクランブルにはできない。いつからかというのは警察から改めて広報があるが、秋くらいではないかということです。

辻堂市民センター

高砂小と白浜と高浜中学校の間の道路について、少し乱雑といいますか、草がボーボーであったりしますので、学校と地元の皆さんで協力して、例えば花を植えていったり、掃除をしたり、そういうような取組を進めていきますので報告させていただきます。

次回会議

4月21日金曜日 13時30分から